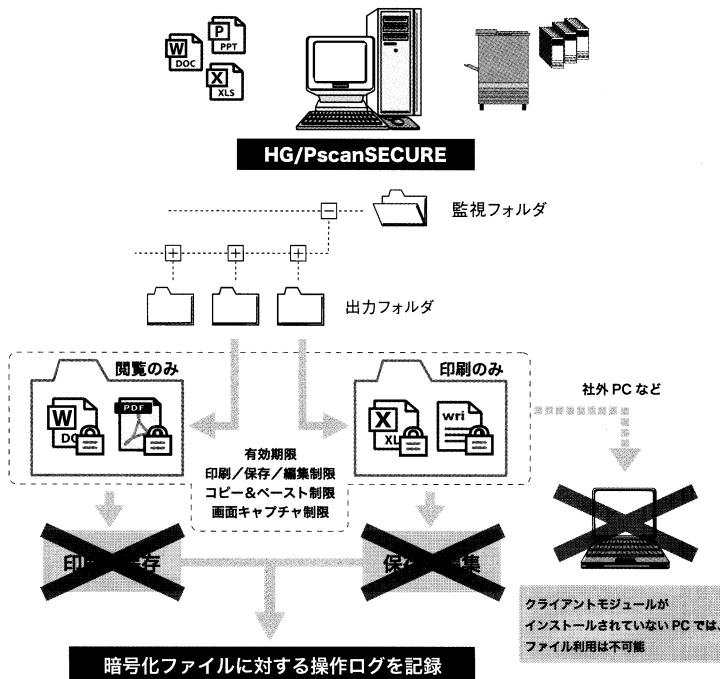


HG/PscanSECURE

強固な情報漏えい防止機能を搭載、マルチ PDF 変換サーバ



■ TECHNICAL DATA 2006/07

HG/PscanSECURE は、HG/PscanServPlus に DRM 技術をベースとした HG/FolderSAFER の強固な情報漏えい防止機能を追加した製品です。

しかも、両製品のシンプルな操作性を継承していますので、情報漏えいによる社会的、経済的ダメージから企業を守るドキュメントセキュリティシステムを、容易に構築できます。

1. 暗号化したい MS-Office ファイル、text、PDF をドラッグ&ドロップで監視フォルダに移動するだけで、元の拡張子のまま暗号化されたファイルとして出力フォルダに出力されます。
2. 紙文書からスキャンした画像ファイルは PDF 変換し、同時に暗号化されます。

■HG/PscanServPlus の機能をフル実装

HG/PscanSECURE は、高精度 OCR 機能を搭載し、あらゆるアプリケーションファイルの PDF 変換にも対応した、マルチ PDF 変換サーバ HG/PscanServPlus の機能をすべて実装しています。

監視フォルダに設定するだけで、全文検索可能なテキストレイヤ付 PDF を生成したり、強固な暗号化を施したファイルを生成するサーバシステムを構築できます

*HG/PscanServPlus の機能詳細については、HG/PscanServPlus のカタログを参照下さい。

■従来とは違う、強固な情報漏えい対策

従来の暗号化技術や、ログインパスワード管理だけでは、画面キャプチャの防止は困難だったり、権限を持つ人が持ち出したファイルには、使用制限が出来なくなるなどの問題がありました。

また、Word や Excel、PowerPoint などの電子ファイルの暗号化や操作ログの取得を行うには、特殊な専用ソフトを用いたり暗号化されたファイルを平文に復号してから Word で開くなどの手間がかかり、漏えいリスクがありました。

しかしながら、DRM の技術を用いると、永続的にファイルを暗号化したまま、通常の Word や Excel、Adobe Reader などで、印刷や編集の禁止、画面キャプチャ防止などの、情報の漏えいをガードできます。

■サーバシステムに依存しない、ドキュメントセキュリティを実現

HG/PscanSECURE で暗号化されたファイルを Word や Excel で開いた後に保存する際には、自動的に暗号化されます。また、Word ファイルや Excel ファイルのまま閲覧のみ、印刷禁止、画面キャプチャ禁止、有効期限設定などの利用制限をつける事が出来ます。

これにより、PDF に変換する必要がなく、特別な認証サーバなどを導入しなくても容易にファイルベースで運用できるドキュメントセキュリティシステムを実現できます。

■PDF による利用制限も可能

対象ファイルを PDF 化する事により、クライアントモジュールを必要としない形で、セキュアな PDF ファイルを配布する事も可能です。また、対象の PDF をパスワードで暗号化したり、閲覧のみ、印刷のみなどの利用制限を付与する事が可能です。さらに、閲覧期間を制限したり、ダウンロード禁止などのセキュリティを施した PDF にして配布する事もできます。

グループ内のファイルサーバに暗号化フォルダを設定し、そこにファイルをドラッグするだけで、簡単に暗号化、利用制限が設定できます。

■ファイル流出リスクに対応

サーバで共通の暗号鍵で暗号化しますので、正規ユーザの間ではパスワードの入力や専用ツールなどを使うことなく、いままでの Office ファイルと同様に使えますが、常時暗号化されているため外部に流出しても、専用のクライアントモジュールの無い PC では一切ファイルを開いたり、利用できません。

Winny/ ウィルスなどによるファイル流出など、企業の多くの情報漏えいリスクに、簡単に対応できます。

■ファイルの利用ログがとれる

内部統制や、P マーク取得などで必要な重要なファイルのオープンや印刷などの利用ログを取得することができます。